

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年5月12日 (2011.5.12)

【公表番号】特表2006-527724(P2006-527724A)

【公表日】平成18年12月7日 (2006.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-048

【出願番号】特願2006-515942(P2006-515942)

【国際特許分類】

C 0 7 H 17/08 (2006.01)

A 0 1 N 43/90 (2006.01)

A 0 1 P 7/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 H 17/08 C S P L

A 0 1 N 43/90 1 0 1

A 0 1 P 7/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年3月25日 (2011.3.25)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

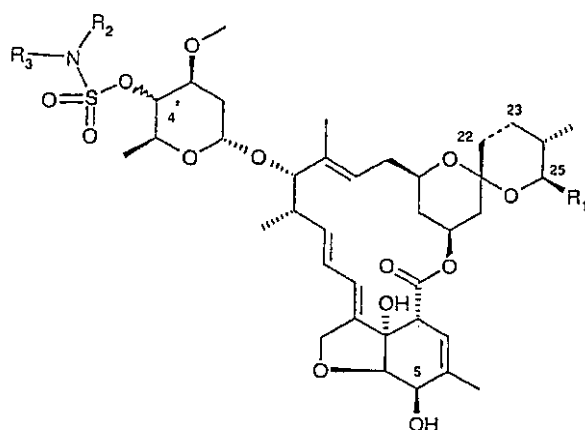
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次式：

【化 1】



(式中、炭素原子 22 および 23 間の結合は単結合または二重結合であってよく；

R₁ は、C₁ ~ C₁₂ アルキル、C₃ ~ C₈ シクロアルキルまたは C₂ ~ C₁₂ アルケニルであり；

R₂ および R₃ は、互いに独立して、水素、C₁ ~ C₁₂ アルキル、C₃ ~ C₁₂ シクロアルキル、C₂ ~ C₁₂ アルケニル、C₂ ~ C₁₂ アルキニル、アリールまたはヘテロアリール；この場合、C₁ ~ C₁₂ アルキル、C₃ ~ C₁₂ シクロアルキル、C₂ ~ C₁₂ アルケニル、C₂ ~ C₁₂ ア

ルキニル、アリールおよびヘテロアリール基は非置換、または1～5置換されてよく；
 $C(=O)R_4$ または SO_2R_4 であり；あるいは

R_2 および R_3 は一緒になって、3～7員アルキレン架橋または4～7員アルケニレン架橋
 (ここで、アルキレンまたはアルケニレン中の1または2個の CH_2 基はO、Sまたは NR_5
 により置換されてよく)であるか；あるいは基 $=N^+=N^-$ であり；

そしてここで、 R_2 および R_3 下で定義されるアルキル、アルケニル、アルキニル、アルキ
 レン、アルケニレン、シクロアルキル、アリールおよびヘテロアリール基の置換基は、O
 H；=O；SH；=S； $-NH_2$ ；CN； NO_2 ；ハロゲン； $C_1\sim C_{12}$ アルキル；ハロ-
 $C_1\sim C_2$ アルキル； $C_1\sim C_{12}$ アルケニル； $C_2\sim C_6$ アルキニル； $C_3\sim C_8$ シクロアルキ
 ル(置換されないかまたは1～3個のメチル基により置換される)；ノルボルネニル； C_3
 $\sim C_8$ シクロアルケニル(置換されないかまたは1～3個のメチル基により置換される)；
 $C_3\sim C_8$ ハロシクロアルキル； $C_1\sim C_{12}$ アルコキシ； $C_1\sim C_6$ アルコキシ- $C_1\sim C_6$ アル
 キル； $C_1\sim C_6$ アルコキシ- $C_1\sim C_6$ アルコキシ； $C_1\sim C_6$ アルコキシ- $C_1\sim C_6$ アル
 コキシ- $C_1\sim C_6$ アルキル； $C_2\sim C_{12}$ アルケニルオキシ； $C_2\sim C_{12}$ アルケニルオキシ-
 $C_1\sim C_6$ アルコキシ； $C_3\sim C_8$ シクロアルコキシ； $C_1\sim C_{12}$ ハロアルコキシ； $C_1\sim C_{12}$
 アルキルチオ； $C_3\sim C_8$ シクロアルキルチオ； $C_1\sim C_{12}$ ハロアルキルチオ； $C_1\sim C_{12}$ アル
 キルスルフィニル； $C_3\sim C_8$ シクロアルキルスルフィニル； $C_1\sim C_{12}$ ハロアルキルス
 ルフィニル； $C_3\sim C_8$ ハロシクロアルキルスルフィニル； $C_1\sim C_{12}$ アルキルスルホニル
 ； $C_3\sim C_8$ シクロアルキルスルホニル； $C_1\sim C_{12}$ ハロアルキルスルホニル； $C_3\sim C_8$ ハ
 ロシクロアルキルスルホニル； $C_2\sim C_8$ アルケニル； $C_2\sim C_8$ アルキニル； $-NH(C_1$
 $\sim C_6$ アルキル)； $-N(C_1\sim C_6$ アルキル) $_2$ ； $-C(=O)R_6$ ； $-NHC(=O)R_7$
 ； $-P(=O)(OC_1\sim C_6$ アルキル) $_2$ ；アリール；ヘテロシクリル；アリールオキシ
 ；およびヘテロシクリルオキシからなる群から選択され；

ここで、アリール、ヘテロシクリル、アリールオキシおよびヘテロシクリルオキシ基は置
 換されないか、あるいは環での置換の可能性によって、OH；ハロゲン；CN； NO_2 ；
 $C_1\sim C_{12}$ アルキル； $C_3\sim C_8$ シクロアルキル； $C_1\sim C_{12}$ ハロアルキル； $C_1\sim C_{12}$ アル
 コキシ； $C_1\sim C_{12}$ ハロアルコキシ； $C_1\sim C_{12}$ アルキルチオ； $C_1\sim C_{12}$ ハロアルキルチ
 オ； $C_1\sim C_{12}$ アルキルスルフィニル； $C_1\sim C_{12}$ アルキルスルホニル； $C_1\sim C_6$ アルコキ
 シ- $C_1\sim C_6$ アルキル；ジメチルアミノ- $C_1\sim C_6$ アルコキシ； $C_2\sim C_8$ アルケニル； C
 $_2\sim C_8$ アルキニル；フェニル- $C_1\sim C_6$ アルキル；フェノキシ(置換されないかまたは互
 いに独立して、ハロゲン、メトキシ、トリフルオロメチルおよびトリフルオロメトキシか
 ら選択される1～3個の置換基により置換される)；フェニル- $C_1\sim C_6$ アルコキシ(置換
 されないかまたは、ハロゲン、メトキシ、トリフルオロメチルおよびトリフルオロメトキシ
 から互いに独立して選択される1～3個の置換基により芳香族環中で置換される)；フェ
 ニル- $C_2\sim C_6$ アルケニル；フェニル- $C_2\sim C_6$ アルキニル；メチレンジオキシ； $-C($
 $=O)R_6$ ； $-O-C(=O)R_7$ ； $-NH-C(=O)R_7$ ； $-NH_2$ ； $-NH(C_1\sim C_1$
 $_2$ アルキル)； $-N(C_1\sim C_{12}$ アルキル) $_2$ ； $C_1\sim C_6$ アルキルチオ； $C_1\sim C_6$ アルキル
 スルフィニル； $C_3\sim C_8$ シクロアルキルスルフィニル； $C_1\sim C_6$ ハロアルキルスルフィニ
 ル； $C_3\sim C_8$ ハロシクロアルキルスルフィニル； $C_1\sim C_6$ アルキルスルホニル； $C_3\sim C_8$
 シクロアルキルスルホニル； $C_1\sim C_6$ ハロアルキルスルホニル；および $C_3\sim C_8$ ハロシク
 ロアルキルスルホニルからなる群から選択される置換基により1～5置換され；

R_4 は、H； $C_1\sim C_8$ アルキル；ハロゲン、ニトロ、 $C_1\sim C_8$ アルコキシ、アリールオキ
 シ、OH、SH、 $-NH_2$ 、 $-NH(C_1\sim C_{12}$ アルキル)および $-N(C_1\sim C_{12}$ アルキ
 ル) $_2$ からなる群から選択される置換基により1～7置換される $C_1\sim C_8$ アルキル； $C_1\sim$
 C_8 アルコキシ；ハロ- $C_1\sim C_8$ アルコキシ； $C_3\sim C_8$ シクロアルキル； $C_3\sim C_8$ シクロ
 アルコキシ； $C_2\sim C_8$ アルケニル；ハロ- $C_2\sim C_8$ アルケニル； $C_2\sim C_8$ アルケニルオキ
 シ；ハロ- $C_2\sim C_8$ アルケニルオキシ； $C_2\sim C_8$ アルキニル； $C_2\sim C_8$ アルキニルオキシ
 ； $-NH_2$ ； $-NH(C_1\sim C_{12}$ アルキル)； $-N(C_1\sim C_{12}$ アルキル) $_2$ ；アリール；ア
 リールオキシ；ベンジル；ベンジルオキシ；ヘテロシクリル；ヘテロシクリルオキシ；ヘ
 テロシクリルメチル；ヘテロシクリルメトキシ； $-NH$ -アリール； $-NH$ -ヘテロシク

リル； - N ($C_1 \sim C_6$ アルキル) - アリール；または - N ($C_1 \sim C_6$ アルキル) - ヘテロシクリルであり；

ここで、アリール、アリールオキシ、ベンジル、ベンジルオキシ、ヘテロシクリル、ヘテロシクリルオキシ、ヘテロシクリルメチル、ヘテロシクリルメトキシ、 - NH - アリール、 - NH - ヘテロシクリル、 - N ($C_1 \sim C_6$ アルキル) - アリールおよび - N ($C_1 \sim C_6$ アルキル) - ヘテロシクリル基は、置換されないか、あるいは環での置換の可能性によって、互いに独立して、ハロゲン、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ - $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキルチオ、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルチオ、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルホニル、 $C_2 \sim C_8$ アルケニルオキシ、 $C_2 \sim C_8$ アルキニルオキシ、ニトロ、 - N₃ およびシアノから選択される1～3個の置換基により置換される環中にある；

R₅ は、 $C_1 \sim C_8$ アルキル、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル、 $C_2 \sim C_8$ アルケニル、 $C_2 \sim C_8$ アルキニル、ベンジル、 - C (= O) - R₈ または - C (= S) - R₈ であり；

R₆ は、H；OH；SH； $C_1 \sim C_8$ アルキル；ハロゲン、ニトロ、 $C_1 \sim C_8$ アルコキシ、アリールオキシ、OH、SH、 - NH₂、 - NH ($C_1 \sim C_{12}$ アルキル) および - N ($C_1 \sim C_{12}$ アルキル)₂ からなる群から選択される置換基により1～7置換される $C_1 \sim C_8$ アルキル； $C_1 \sim C_8$ アルコキシ；ハロ - $C_1 \sim C_8$ アルコキシ； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルコキシ； $C_2 \sim C_8$ アルケニル； $C_2 \sim C_8$ アルケニルオキシ； $C_2 \sim C_8$ アルキニル； $C_2 \sim C_8$ アルキニルオキシ； - NH₂； - NH ($C_1 \sim C_{12}$ アルキル)； - N ($C_1 \sim C_{12}$ アルキル)₂；アリール；アリールオキシ；ベンジル；ベンジルオキシ；ヘテロシクリル；ヘテロシクリルオキシ；ヘテロシクリルメチル；またはヘテロシクリルメトキシであり；

ここで、アリール、アリールオキシ、ベンジル、ベンジルオキシ、ヘテロシクリル、ヘテロシクリルオキシ、ヘテロシクリルメチルおよびヘテロシクリルメトキシ基は、置換されないか、あるいは環での置換の可能性によって、互いに独立して、ハロゲン、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ - $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキルチオ、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルチオ、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルホニル、 $C_2 \sim C_8$ アルケニルオキシ、 $C_2 \sim C_8$ アルキニルオキシ、ニトロ、 - N₃ およびシアノから選択される1～3個の置換基により置換され；

R₇ は、H、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ - $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキル、 $C_2 \sim C_8$ アルケニル、 $C_2 \sim C_8$ アルキニル、アリール、ヘテロシクリル、ベンジル、 - NH₂、 - NH ($C_1 \sim C_{12}$ アルキル)、 - N ($C_1 \sim C_{12}$ アルキル)₂、 - NH - フェニルまたは - N ($C_1 \sim C_{12}$ アルキル) - フェニルであり；

R₈ は、H、OH、SH、 - NH₂、 - NH ($C_1 \sim C_{12}$ アルキル)、 - N ($C_1 \sim C_{12}$ アルキル)₂、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ - $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ - $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキルチオ、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルホニル、 $C_2 \sim C_8$ アルケニルオキシ、 $C_2 \sim C_8$ アルキニルオキシ、フェニル、フェノキシ、ベンジルオキシ、 - NH - フェニル、 - N ($C_1 \sim C_6$ アルキル) - フェニル、 - NH - $C_1 \sim C_6$ アルキル - C (= O) - R₉、 - N ($C_1 \sim C_6$ アルキル) - $C_1 \sim C_6$ アルキル - C (= O) - R₉ またはフェニル、フェノキシ、ベンジルオキシ、 - NH - フェニルまたは - N ($C_1 \sim C_6$ アルキル) - フェニル (その各々が、互いに独立して、ハロゲン、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキルおよび $C_1 \sim C_6$ ハロアルコキシから選択される1～3個の置換基により芳香族環中で置換される) であり；

R₉ は、H、OH、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ - $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_2 \sim C_8$ アルケニルオキシ、フェニル、フェノキシ、ベンジルオキシ、 - NH₂、 - NH ($C_1 \sim C_{12}$ アルキル)、 - N ($C_1 \sim C_{12}$ アルキル)₂、 - NH - フェニルまたは - N ($C_1 \sim C_{12}$ アルキル) - フェニルである) の化合物、そして適用可能な

場合には、各々の場合に遊離形態または塩形態の、E / Z 異性体、E / Z 異性体の混合物、ジアステレオマーおよび / または互変異性体。

【請求項 2】

有効成分として請求項 1 記載の式 (I) の少なくとも 1 つの化合物を、そして少なくとも 1 つのアジュバントを含む殺虫組成物。

【請求項 3】

害虫の防除方法であって、請求項 2 記載の組成物を害虫またはそれらの生息環境に施用（ヒトへの施用を除く）することを包含する方法。

【請求項 4】

請求項 2 記載の少なくとも 1 つのアジュバントを含む組成物の調製方法であって、有効成分をアジュバント（単数または複数）と均質に混合しおよび / または磨砕することを包含する方法。

【請求項 5】

請求項 2 記載の組成物の調製における請求項 1 記載の式 (I) の化合物の使用。

【請求項 6】

害虫を防除するに際しての（ヒトへの使用を除く）請求項 2 記載の組成物の使用。

【請求項 7】

植物繁殖物質の防除方法であって、繁殖物質または繁殖物質の植付け部位を請求項 2 記載の殺虫組成物で処理することを包含する方法。

【請求項 8】

請求項 7 記載の方法に従って処理された植物繁殖物質。

【請求項 9】

請求項 2 記載の殺虫組成物を含むタンクミックス組成物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 1

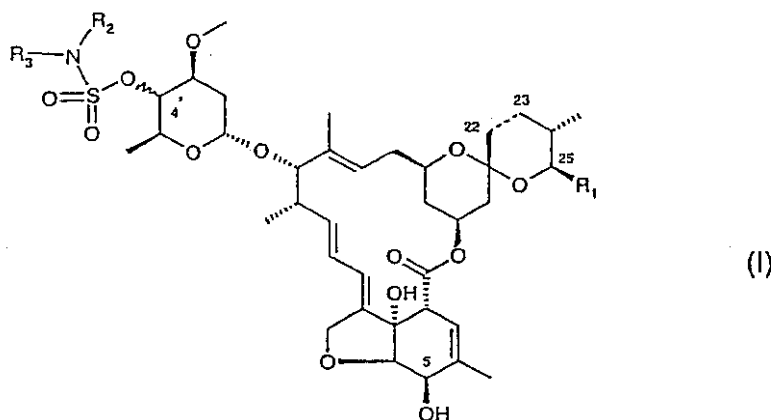
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、(1) 次式：

【化 1】



（式中、炭素原子 22 および 23 間の結合は単結合または二重結合であってよく；
 R_1 は、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルまたは $C_2 \sim C_{12}$ アルケニルであり；

R_2 および R_3 は、互いに独立して、水素、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_3 \sim C_{12}$ シクロアルキル、 $C_2 \sim C_{12}$ アルケニル、 $C_2 \sim C_{12}$ アルキニル、アリーールまたはヘテロアリーール（この場合、 $C_1 \sim C_{12}$ アルキル、 $C_3 \sim C_{12}$ シクロアルキル、 $C_2 \sim C_{12}$ アルケニル、 $C_2 \sim C_{12}$ アルキニル、アリーールおよびヘテロアリーール基は非置換、または1～5置換され得る）、 $-C(=O)R_4$ または SO_2R_4 であり；あるいは

R_2 および R_3 は一緒になって、3～7員アルキレン架橋または4～7員アルケニレン架橋（ここで、アルキレンまたはアルケニレン中の1または2個の CH_2 基はO、Sまたは NR_5 により置換されてよく）であるか；あるいは基 $=N^+=N^-$ であり；

そしてここで、 R_2 および R_3 下で定義されるアルキル、アルケニル、アルキニル、アルキレン、アルケニレン、シクロアルキル、アリーールおよびヘテロアリーール基の置換基は、OH；=O；SH；=S； $-NH_2$ ；CN； NO_2 ；ハロゲン； $C_1 \sim C_{12}$ アルキル；ハロ- $C_1 \sim C_2$ アルキル； $C_1 \sim C_{12}$ アルケニル； $C_2 \sim C_6$ アルキニル； $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル（置換されないかまたは1～3個のメチル基により置換される）；ノルボルネニル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルケニル（置換されないかまたは1～3個のメチル基により置換される）； $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキル； $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ； $C_1 \sim C_6$ アルコキシ- $C_1 \sim C_6$ アルキル； $C_1 \sim C_6$ アルコキシ- $C_1 \sim C_6$ アルコキシ； $C_1 \sim C_6$ アルコキシ- $C_1 \sim C_6$ アルコキシ- $C_1 \sim C_6$ アルキル； $C_2 \sim C_{12}$ アルケニルオキシ； $C_2 \sim C_{12}$ アルケニルオキシ- $C_1 \sim C_6$ アルコキシ； $C_3 \sim C_8$ シクロアルコキシ； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルコキシ； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルチオ； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルチオ； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルチオ； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルフィニル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルスルフィニル； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルスルフィニル； $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルフィニル； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルホニル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルスルホニル； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルスルホニル； $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルホニル； $C_2 \sim C_8$ アルケニル； $C_2 \sim C_8$ アルキニル； $-NH(C_1 \sim C_6 \text{アルキル})$ ； $-N(C_1 \sim C_6 \text{アルキル})_2$ ； $-C(=O)R_6$ ； $-NHC(=O)R_7$ ； $-P(=O)(OC_1 \sim C_6 \text{アルキル})_2$ ；アリーール；ヘテロシクリル；アリーールオキシ；およびヘテロシクリルオキシからなる群から選択され；

ここで、アリーール、ヘテロシクリル、アリーールオキシおよびヘテロシクリルオキシ基は置換されないか、あるいは環での置換の可能性によって、OH；ハロゲン；CN； NO_2 ； $C_1 \sim C_{12}$ アルキル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキル； $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルコキシ； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルチオ； $C_1 \sim C_{12}$ ハロアルキルチオ； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルフィニル； $C_1 \sim C_{12}$ アルキルスルホニル； $C_1 \sim C_6$ アルコキシ- $C_1 \sim C_6$ アルキル；ジメチルアミノ- $C_1 \sim C_6$ アルコキシ； $C_2 \sim C_8$ アルケニル； $C_2 \sim C_8$ アルキニル；フェニル- $C_1 \sim C_6$ アルキル；フェノキシ（置換されないかまたは互いに独立して、ハロゲン、メトキシ、トリフルオロメチルおよびトリフルオロメトキシから選択される1～3個の置換基により置換される）；フェニル- $C_1 \sim C_6$ アルコキシ（置換されないかまたは、ハロゲン、メトキシ、トリフルオロメチルおよびトリフルオロメトキシから互いに独立して選択される1～3個の置換基により芳香族環中で置換される）；フェニル- $C_2 \sim C_6$ アルケニル；フェニル- $C_2 \sim C_6$ アルキニル；メチレンジオキシ； $-C(=O)R_6$ ； $-O-C(=O)R_7$ ； $-NH-C(=O)R_7$ ； $-NH_2$ ； $-NH(C_1 \sim C_{12} \text{アルキル})$ ； $-N(C_1 \sim C_{12} \text{アルキル})_2$ ； $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ； $C_1 \sim C_6$ アルキルスルフィニル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルスルフィニル； $C_1 \sim C_6$ ハロアルキルスルフィニル； $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルフィニル； $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキルスルホニル； $C_1 \sim C_6$ ハロアルキルスルホニル；および $C_3 \sim C_8$ ハロシクロアルキルスルホニルからなる群から選択される置換基により1～5置換され；

R_4 は、H； $C_1 \sim C_8$ アルキル；ハロゲン、ニトロ、 $C_1 \sim C_8$ アルコキシ、アリーールオキシ、OH、SH、 $-NH_2$ 、 $-NH(C_1 \sim C_{12} \text{アルキル})$ および $-N(C_1 \sim C_{12} \text{アルキル})_2$ からなる群から選択される置換基により1～7置換される $C_1 \sim C_8$ アルキル； $C_1 \sim C_8$ アルコキシ；ハロ- $C_1 \sim C_8$ アルコキシ； $C_3 \sim C_8$ シクロアルキル； $C_3 \sim C_8$ シクロアルコキシ； $C_2 \sim C_8$ アルケニル；ハロ $C_2 \sim C_8$ アルケニル； $C_2 \sim C_8$ アルケニルオキシ；ハロ- $C_2 \sim C_8$ アルケニルオキシ； $C_2 \sim C_8$ アルキニル； $C_2 \sim C_8$ アルキニルオキシ；

- NH_2 ; - $\text{NH}(\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}\text{アルキル})$; - $\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}\text{アルキル})_2$; アリール; アリールオキシ; ベンジル; ベンジルオキシ; ヘテロシクリル; ヘテロシクリルオキシ; ヘテロシクリルメチル; ヘテロシクリルメトキシ; - NH -アリール; - NH -ヘテロシクリル; - $\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_6\text{アルキル})$ -アリール; または - $\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_6\text{アルキル})$ -ヘテロシクリルであり;

ここで、アリール、アリールオキシ、ベンジル、ベンジルオキシ、ヘテロシクリル、ヘテロシクリルオキシ、ヘテロシクリルメチル、ヘテロシクリルメトキシ、- NH -アリール、- NH -ヘテロシクリル、- $\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_6\text{アルキル})$ -アリールおよび - $\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_6\text{アルキル})$ -ヘテロシクリル基は、置換されないか、あるいは環での置換の可能性によって、互いに独立して、ハロゲン、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ ハロアルキル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルコキシ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ ハロアルコキシ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルコキシ - $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルコキシ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキルチオ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ ハロアルキルチオ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキルスルフィニル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキルスルホニル、 $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルケニルオキシ、 $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルキニルオキシ、ニトロ、- N_3 およびシアノから選択される1~3個の置換基により置換される環中にある;

R_5 は、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_8$ アルキル、 $\text{C}_3 \sim \text{C}_8$ シクロアルキル、 $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルケニル、 $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルキニル、ベンジル、- $\text{C}(=\text{O})-\text{R}_8$ または - $\text{C}(=\text{S})-\text{R}_8$ であり;

R_6 は、 H ; OH ; SH ; $\text{C}_1 \sim \text{C}_8$ アルキル; ハロゲン、ニトロ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_8$ アルコキシ、アリールオキシ、 OH 、 SH 、- NH_2 、- $\text{NH}(\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}\text{アルキル})$ および - $\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}\text{アルキル})_2$ からなる群から選択される置換基により1~7置換される $\text{C}_1 \sim \text{C}_8$ アルキル; $\text{C}_1 \sim \text{C}_8$ アルコキシ; ハロ - $\text{C}_1 \sim \text{C}_8$ アルコキシ; $\text{C}_3 \sim \text{C}_8$ シクロアルキル; $\text{C}_3 \sim \text{C}_8$ シクロアルコキシ; $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルケニル; $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルケニルオキシ; $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルキニル; $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルキニルオキシ; - NH_2 ; - $\text{NH}(\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}\text{アルキル})$; - $\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}\text{アルキル})_2$; アリール; アリールオキシ; ベンジル; ベンジルオキシ; ヘテロシクリル; ヘテロシクリルオキシ; ヘテロシクリルメチル; またはヘテロシクリルメトキシであり;

ここで、アリール、アリールオキシ、ベンジル、ベンジルオキシ、ヘテロシクリル、ヘテロシクリルオキシ、ヘテロシクリルメチルおよびヘテロシクリルメトキシ基は、置換されないか、あるいは環での置換の可能性によって、互いに独立して、ハロゲン、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ ハロアルキル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルコキシ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ ハロアルコキシ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルコキシ - $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルコキシ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキルチオ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ ハロアルキルチオ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキルスルフィニル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキルスルホニル、 $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルケニルオキシ、 $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルキニルオキシ、ニトロ、- N_3 およびシアノから選択される1~3個の置換基により置換され;

R_7 は、 H 、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルコキシ - $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルキル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ ハロアルキル、 $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルケニル、 $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルキニル、アリール、ヘテロシクリル、ベンジル、- NH_2 、- $\text{NH}(\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}\text{アルキル})$ 、- $\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}\text{アルキル})_2$ 、- NH -フェニルまたは - $\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}\text{アルキル})$ -フェニルであり;

R_8 は、 H 、 OH 、 SH 、- NH_2 、- $\text{NH}(\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}\text{アルキル})$ 、- $\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}\text{アルキル})_2$ 、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ ハロアルキル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルコキシ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ ハロアルコキシ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルコキシ - $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルキル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルコキシ - $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルコキシ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキルチオ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキルスルフィニル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキルスルホニル、 $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルケニルオキシ、 $\text{C}_2 \sim \text{C}_8$ アルキニルオキシ、フェニル、フェノキシ、ベンジルオキシ、- NH -フェニル、- $\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_6\text{アルキル})$ -フェニル、- NH - $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルキル - $\text{C}(=\text{O})-\text{R}_9$ 、- $\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_6\text{アルキル})$ - $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルキル - $\text{C}(=\text{O})-\text{R}_9$ またはフェニル、フェノキシ、ベンジルオキシ、- NH -フェニルまたは - $\text{N}(\text{C}_1 \sim \text{C}_6\text{アルキル})$ -フェニル(その各々が、互いに独立して、ハロゲン、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルコキシ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ ハロアルキルおよび $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ ハロアルコキシから選択される1~3個の置換基により芳香族環中で置換される)であり;

R_9 は、 H 、 OH 、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルキル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_{12}$ アルコキシ、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルコキシ - C_1

～ C_6 アルコキシ、 $C_2 \sim C_8$ アルケニルオキシ、フェニル、フェノキシ、ベンジルオキシ、 $-NH_2$ 、 $-NH(C_1 \sim C_{12}$ アルキル)、 $-N(C_1 \sim C_{12}$ アルキル) $_2$ 、 $-NH$ -フェニルまたは $-N(C_1 \sim C_{12}$ アルキル)-フェニルである)

の化合物に、そして適用可能な場合には、各々の場合に遊離形態でまたは塩形態で、E/Z異性体、E/Z異性体の混合物、ジアステレオマーおよび/または互変異性体に；その化合物並びにそれらの異性体及び互変異性体の調製方法に、そして使用に；式(I)の化合物の調製のための出発原料に；有効成分が式(I)の化合物およびそれらの互変異性体から選択された殺虫組成物に；ならびにその組成物を用いた害虫の防除方法に関する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0149

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0149】

本発明は、殺虫およびタンクミックス組成物の施用方法に、即ち上記の種類の害虫の防除方法、例えば噴霧、霧化、散布、コーティング、ドレッシング、飛散または注ぎ込み（これらは意図された目的および優勢な環境に従って選択される）に、ならびに上記の種類の害虫の防除のための組成物の使用にも関する。濃度の典型的比率は、0.1～1000 ppm、好ましくは0.1～500 ppmの有効成分である。施用率/ヘクタールは、一般に1～2000 gの有効成分/ヘクタール、特に10～1000 g/ha、好ましくは20～600 g/ha、最も好ましくは20～100 g/haである。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0151

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0151】

殺虫およびタンクミックス組成物は、植物繁殖物質、例えば種子、例えば果実、塊茎または穀粒、あるいは植物裁断片を動物害虫に対して防御するのにも適している。繁殖物質は、植付け前に組成物で処理され得る：例えば種子は、播種される前にドレッシングされ得る。本発明の有効成分は、液体処方物中に種子を含浸することにより、またはそれらを固体処方物でコーティングすることにより、穀粒（コーティング）にも施用され得る。組成物は、繁殖物質が、例えば播種中に種子畝に植え付けられるものである場合、植付け部位にも施用され得る。本発明は、植物繁殖物質のこのような処理方法に、そしてそのように処理された植物繁殖物質にも関する。